

令和元年6月16日現在

機関番号：32686

研究種目：基盤研究(B) (一般)

研究期間：2016～2018

課題番号：16H03718

研究課題名(和文) 厚生行政のオーラルヒストリー - 終戦後の制度再建から介護保険の創設まで

研究課題名(英文) An Oral History of Social Policy: From the reconstruction of social security in the immediate postwar period to the establishment of long term care insurance

研究代表者

菅沼 隆 (SUGANUMA, Takashi)

立教大学・経済学部・教授

研究者番号：00226416

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 12,700,000円

研究成果の概要(和文)：本研究では、オーラルヒストリー研究の手法を用いて、戦後社会保障政策の展開について検討を行った。戦後の社会保障政策に関与した7名の厚生官僚と2名の研究者のオーラルヒストリー記録を作成した。インタビューを通じて、社会保障の政策決定プロセスにおいて様々な政策提案がなされる経緯および取舍選択される経緯などを検討した。

研究成果の学術的意義や社会的意義

本研究は、戦後の厚生行政の形成過程に関するオーラルヒストリーを記録した。また本研究では、実施した聞き取りと史資料との照合を行い、その証言の確かさや新規性等を総合的に検討した。具体的な成果としては、オーラルヒストリー報告書の作成、オーラルヒストリーを用いた学術論文の執筆、戦後社会保障に関する書籍の公刊を行った。公刊した書籍は重版されるなど、本研究の学術的意義は広く認められたものと考えられる。

研究成果の概要(英文)：This research investigated the social policy development in post-war Japan by the oral history method. Our research team collected oral history interviews of the seven bureaucrats worked in the Health and Welfare Ministry and two social scientists. Through the interviews, this research analyzed the backgrounds of the social policy proposals and choices in the social policy-making processes.

研究分野：社会政策

キーワード：社会保障 国民皆保険・皆年金 介護保険

様式 C - 19、F - 19 - 1、Z - 19、CK - 19 (共通)

1. 研究開始当初の背景

本研究の目的は、オーラルヒストリーの手法を用いて、厚生行政のキーパーソンの証言や回想の記録を保存することである。これまでも本研究チームはオーラルヒストリー研究に従事し、その聞き取り記録を公刊してきた。研究を実施する中で、厚生官僚の聞き取りの内諾を順調に得ており、この研究参加の流れを止めることは今後の歴史研究に大きな損失となると考えた。そこで本研究は、前回の研究を発展させ、対象期間も1980年代半ば～2000年まで延長し、さらには年金・医療保険のみに留まらない厚生行政全般の聞き取りを進めることとした。その取り組みから、戦後の厚生行政の証言アーカイブズを生み出すような研究とすることを当初の目標として掲げた。

2. 研究の目的

本研究は、厚生官僚の証言を通じて、戦後の厚生行政の形成過程を明らかにすることを目的とする。その証言から、史資料や行政資料から読み取れない政策決定プロセスの記録を行う。そして本研究で実施した聞き取りと史資料との照合を行い、その証言の確かさや新規性等を総合的に検討する。

具体的には、オーラルヒストリー報告書の随時の公表と史資料との総合的検証、戦後の厚生行政に関する書籍の公刊を目指す。

3. 研究の方法

本研究では、テーマ・オーラルヒストリー（特定の政策課題に関する複数の関係者より聞き取りを行う手法）という手法を用いた。研究体制として(1)年金部会、(2)医療部会、(3)介護・福祉部会、(4)史資料部会を設置し、合同研究会・報告会にて各部会での聞き取りと史資料の照合を行った。

テーマ・オーラルヒストリーの手法を用いて研究プロジェクトを運営する際は、以下のような手続きで実施した。テーマの設定、インタビュー対象者の選定・交渉、インタビュー対象者の職歴・業績とテーマの関連の検討、インタビューの実施、記録の確認および次のインタビューのための振り返り、研究結果の公表やオーラルヒストリーの公開である。

4. 研究成果

本研究班の成果としては、まず、9冊のオーラルヒストリー報告書を公刊することができたことがある。1980年代の社会保障改革や介護保険の導入実施に関する議論を中心に厚生官僚7名の聞き取りを行った。加えて、社会保障研究者の聞き取りを行い、自身の研究歴と政策への関わりなどについて証言していただいた。

厚生官僚に聞き取ったテーマには、[医療保険]は1982年老人保健法の制定、1984年の健康保険法改正、2002年の健康保険法改正など医療保険改正などがあり、また[年金保険]は1994年年金改正などについて聞き取りを行うことができた。また[介護保険]は制度創設時の検討状況や法律化までの政治過程など、オーラルヒストリーならではの聞き取りとなった。1980年代以降の社会保障改革についての重要な証言を得ることができたといえる。加えて、最新の動きとして、社会保障と税の一体改革などについて証言を得ることができた。

こうしたオーラルヒストリー報告書の作成のほかに、社会保障の歴史研究を進めた。具体的には、週刊社会保障で連載「厚生官僚オーラルヒストリー研究」と題して、厚生官僚の証言を用いながら、戦後の社会保障を通史的に検討した(全7回)。また国立社会保障・人口問題研究所の機関誌『社会保障研究』の特集「戦後社会保障改革史 オーラルヒストリーと史資料で描くその軌跡」において、研究班の数名が個々の社会保障改革(例えば、国民年金法の形成や1980年代の医療保険改革)についての学術論文を寄稿した。また研究のまとめとして、『戦後社会保障の証言 - 厚生官僚120時間オーラルヒストリー』を出版した。

以上のように、オーラルヒストリー証言の記録ばかりでなく、証言録を利用した学術論文の執筆や書籍を編集することで、本研究の学術的意義を公開することに努めた。

5. 主な発表論文等

[雑誌論文](計15件)

土田武史、社会保障研究とオーラルヒストリー、社会保障研究、査読無、3(1) 2018、2-3
菅沼隆、戦後社会保障の岐路 保険者秩序と政策決定、社会保障研究、査読無、3(1) 2018、4-20

新田秀樹、医療保険制度改革を規定するもの 1980年代前半の改革を素材として、社会保障研究、査読無、3(1) 2018、40-53

中尾友紀、国民年金法の立案過程 自由民主党および厚生省における拋出制・無拋出制年金の検討、社会保障研究、査読無、3(1) 2018、55-67

百瀬優、山田篤裕、1985年年金改正：制度体系再編へ至る道、社会保障研究、査読無、3(1) 2018、69-82

岩永理恵、貧困を捉える視点の変遷 生活保護動態調査」の展開から、社会保障研究、査読無、3(1)、2018、84-97
 田中聡一郎、介護保険の構想と形成過程 厚生官僚オーラルヒストリーの読解から、社会保障研究、査読無、3(1)、2018、99-109
 浅井亜希、児童手当/家族手当の導入をめぐる国際比較、社会保障研究、査読無、3(1)、2018、111-124
 菅沼隆、介護保険の構想、週刊社会保障、査読無、71(2948)、2017、44-49
 田中聡一郎、社会福祉の変遷、週刊社会保障、査読無、71(2947)、2017、52-57
 百瀬優、山田篤裕、公的年金の1985年改正、週刊社会保障、査読無、71(2946)、2017、44-49
 新田秀樹、1980年代前半の医療保険制度改革、週刊社会保障、査読無、71(2945)、2017、44-49
 岩永理恵、生活保護制度の展開、週刊社会保障、査読無、71(2944)、2017、48-53
 中尾友紀、国民皆年金の形成、週刊社会保障、査読無、71(2943)、2017、50-55
 土田武史、国民皆保険成立の史的評価、週刊社会保障、査読無、71(2942)、2017、48-53

〔学会発表〕(計0件)

〔図書〕(計1件)

菅沼隆・土田武史・岩永理恵・田中聡一郎編、有斐閣、『戦後社会保障の証言 - 厚生官僚120時間オーラルヒストリー』、2018、369

〔産業財産権〕

出願状況(計0件)

取得状況(計0件)

〔その他〕

科研費オーラルヒストリー報告書	河幹夫[神奈川県立保健福祉大学教授]
科研費オーラルヒストリー報告書	長尾立子[全国社会福祉協議会名誉会長]
科研費オーラルヒストリー報告書	近藤純五郎[元厚生労働事務次官]
科研費オーラルヒストリー報告書	炭谷茂[元環境事務次官、元厚生省社会・援護局長]
科研費オーラルヒストリー報告書	堤修三[元厚生労働省老健局長]
科研費オーラルヒストリー報告書	岩田正美[日本女子大学名誉教授]
科研費オーラルヒストリー報告書	和田勝[元厚生省大臣官房審議官・高齢者介護対策本部事務局長]
科研費オーラルヒストリー報告書	柏女霊峰[元厚生省児童家庭局児童福祉専門官・淑徳大学教授]
科研費オーラルヒストリー報告書	中村秀一[元内閣官房社会保障改革担当室長、元厚生労働省老健局長、社会・援護局長]

6. 研究組織

(1) 研究分担者

研究分担者氏名：土田 武史

ローマ字氏名：(TSUCHIDA, takeshi)

所属研究機関名：早稲田大学

部局名：商学学術院

職名：名誉教授

研究者番号(8桁)：10172024

研究分担者氏名：新田 秀樹

ローマ字氏名：(NITTA, hideki)

所属研究機関名：中央大学

部局名：法学部

職名：教授

研究者番号 (8桁): 70303576

研究分担者氏名: 森田 慎二郎

ローマ字氏名: (MORITA, shinjiro)

所属研究機関名: 東北学園文化大学

部局名: 医療福祉学部

職名: 教授

研究者番号 (8桁): 00405937

研究分担者氏名: 駒崎 道

ローマ字氏名: (KOMAZAKI, michi)

所属研究機関名: 専修大学

部局名: 人間科学部

職名: 講師

研究者番号 (8桁): 70736636

研究分担者氏名: 松本 由美

ローマ字氏名: (MATSUMOTO, yumi)

所属研究機関名: 大分大学

部局名: 福祉健康科学部

職名: 講師

研究者番号 (8桁): 90627689

研究分担者氏名: 山田 篤裕

ローマ字氏名: (YAMADA, atsuhiro)

所属研究機関名: 慶應義塾大学

部局名: 経済学部

職名: 教授

研究者番号 (8桁): 10348857

研究分担者氏名: 中尾 友紀

ローマ字氏名: (NAKAO, yuki)

所属研究機関名: 愛知県立大学

部局名: 教育福祉学部

職名: 准教授

研究者番号 (8桁): 00410481

研究分担者氏名: 中嶋 洋

ローマ字氏名: (NAKASHIMA, hiroschi)

所属研究機関名: 高知県立大学

部局名: 社会福祉学部

職名: 准教授

研究者番号 (8桁): 00531857

研究分担者氏名: 百瀬 優

ローマ字氏名: (MOMOSE, yu)

所属研究機関名：流通経済大学
部局名：経済学部
職名：准教授
研究者番号（8桁）：00386541

研究分担者氏名：岩永 理恵
ローマ字氏名：(IWANAGA, rie)
所属研究機関名：日本女子大学
部局名：人間社会学部
職名：准教授
研究者番号（8桁）：60438166

研究分担者氏名：田中 聡一郎
ローマ字氏名：(TANAKA, soichiro)
所属研究機関名：関東学院大学
部局名：経済学部
職名：講師
研究者番号（8桁）：40512570

研究分担者氏名：浅井 亜希
ローマ字氏名：(ASAI, aki)
所属研究機関名：東海大学
部局名：文化社会学部
職名：講師
研究者番号（8桁）：40709573

研究分担者氏名：深田 耕一郎
ローマ字氏名：(FUKADA, koichiro)
所属研究機関名：女子栄養大学
部局名：栄養学部
職名：専任講師
研究者番号（8桁）：40709474

科研費による研究は、研究者の自覚と責任において実施するものです。そのため、研究の実施や研究成果の公表等については、国の要請等に基づくものではなく、その研究成果に関する見解や責任は、研究者個人に帰属されます。